

山武地域の医療をよくする会

2008年1月 代表 須河内 省三

〒283-0005 東金市田間84-4 TEL 0475-52-7266



「医師確保で成東病院を立て直して」 住民の命よりお金を大切にする法人化は反対！学習会に52人

成東病院や地域医療のあり方は、 国や県でなく住民が決める

・ 須河内 会代表 ・

成東病院の法人化で医師が増え、住民の医療が守られるのか大変疑問だ。国の公立病院改革も九十九里地域医療センター計画と同じで住民の声を聞いていない。

成東病院や地域医療のあり方は、国や県の言いなりでなく、私たち住民が決めることだと思います。

一月二十日、山武地域の医療をよくする会が「成東病院の独立行政法人化で地域医療が守られるか」と題して住民学習会を開催しました。会場となった成東病院近くの公民館には、地元住民や医療関係者など五十二人が集まりました。

縮小・採算優先の独立行政法人では医療は守れない

講師の自治労連県本部役員篠原さんが、成東病院の法人化は、国が進める医療費抑制策の柱である公立病院改革を先取りするものと指摘。この改革は、自治体に公立病院の経営効率化や他病院との再編統合、独立採算を強める地方独立行政法人など経営を見直す計画を二十年度中につくることを求めている。

これが実施されれば、県や市町が行う医療行政と公立病院が地域医療を守る役割が投げ捨てられ、採算第一の運営で地域医療の崩壊を加速させると強調しました。

住民の声を聞いて

成東病院の再建を

この方針に、どう立ち向かうとして次の三点を提起しました。

①国は「計画作りを強制しない」としている。県や市町村は、国に追随することなく、住民の意見を聞き、自主的に地域医療と公立病院の再建に取り組むことを求めましょう。

②住民の医療への要求は切実で、地域の中核としての公立病院の役割が高まっている。国、県に対し医師・看護師確保、地域医療への支援をするよう求めましょう。

③そのために地域医療をよくする住民運動を広げましょう。

参加者からは、「法人化で医師不足がなくなるか」「地域医療が良くなるかわかった。法人化反対だ」「成東病院を守るのが市長公約だ。再建のメドが立ったと聞いていたのに」などの意見が活発に出されました。

最後に会から、成東病院を公立病院のまま再建させるために、今後学習会開催や県・市町への要請などへの参加を訴えました。

成東病院の充実に期待

〈学習会参加者の声〉

☆（知人が）救急車がきたが受入病院が決まらず亡くなった。

☆急患で成東病院に夜十時に受診したが二時間待ち。夜間救急医師が一人では少ない。

☆四年前に救急患者として成東病院で一命をとりとめ感謝している。元に戻ってほしい。

☆成東病院に紹介状がないとかけられないので困っている人が多い。

☆成東病院の産婦人科に娘がかかっているのに、なくなったら困ります。

☆成東病院の独立行政法人化は絶対反対。充実、存続してほしい。地域住民で守ってほしい。県も支援をしてほしい。

☆医師不足が問題の原因だ。国が公立病院の再編や経営の形を変えることは、もつと医師や医療不足をひどくする。

☆この病院も二、三時間待ちだ。解消を。